

## 【会費納入率と会費収入増に向けた方策(案)】

令和 5 年 11 月吉日

北水同窓会幹事会

- 北水同窓会が持続的に存続するためには、会費納入率を上げることが最重要課題と考え、**会費の実質値下げを提案します(※)**。
- いっそうの経費削減のために、**名簿発行を止め、代わりに必要な方に必要な情報を、隨時提供する形に変えます。**
- サービス向上のため、SNS 等を活用した情報提供と、各地でのイベント開催を各支部の皆様の協力を得て強化します。
- **在校生への支援を強化**し、卒業後の納入率向上を図ります。
- 大学と会員の皆様の現状をお知らせ続けるために、機関紙「親潮」の発行は従来通り継続します。また希望者にはメーリングリストなどの送料のかからない方法で「親潮」を配信し、経費削減を進めます。

### 1. 会費まとめ払い割引制度 + 65 歳以降永年会費制度の開始

- A. 入学後 50 歳までの最大 32 年間分の会費を、10 年分 40,000 円の定額払いを可能とします(実質¥1,250/年)。
- B. 50 歳以上を対象として、65 歳までの最大 15 年間分の会費を、8 年分 32,000 円の定額払いを可能とします(実質¥2,133/年)。
- C. 65 歳以降永年会費(10 年分会費 40,000 円)を可能とします。
- D. 従来までの毎年 4,000 円のお支払も継続します。

(会費納入後は払い戻しません。余剰会費はなるべく利息を確保する元本保証資産として安全に運用し、先食いしないように努めます。)

### 2. 冊子による名簿廃止と、請求に応じて名簿情報のタックシールや PDF での提供開始

従来の名簿を令和 7 年度の発行を最後に廃止します。その後は、会費納入会員に限り請求に応じて、タックシールもしくは、タックシール配置の PDF 配布で代用します。提供は所定の申請書で行っていただきます。提供情報は原則連絡先住所のみ、件数上限を設けます(詳細検討中)。タックシールや紙への印刷の場合は、実費と郵送料のご負担をお願いいたします。各同窓会支部には、請求に応じて、従来通りタックシールをご提供します。

ご要望要望の多いネットでの会員の直接検索は、校友会エルムが新システム「ELM TREE」での登録を開始しましたので(2023 年 5 月 22 日)<https://www.alumni-hokudai.jp/>，皆様はこちらへご登録下さい(2023 年 11 月 1 日現在、まだ会員検索サービスは開始されておりませんので、お待ちください)。登録された方の情報のみ、情報提供可能なシステムです(今後、類似した新情報提供サービスが安価かつ安全に提供された場合には、都度北水同窓会として提供可能か判断いたします)。

### **3. 同窓会情報の発信力とイベントの強化**

会費を払っても良いと考える会員を増やすため、新たなサービスの提供も開始します。例えば函館ご訪問時の、函館キャンパスや練習船の見学ツアーをご案内し、同窓会幹事が出張の際に各支部主催懇談会へ参加して、学内最新情勢をご紹介します(支部活性化)。また皆様のご要望に応じて、様々なイベントを企画します(他大学同窓会の例: 同窓生限定就活相談会、アラムナイ(=OGOB)限定の業界懇親会、等)。

### **4. 在校生への支援を強化し、卒業後の会費納入率向上を図る**

在校生が「卒業後に会費を払っても良い」と考える身近な同窓会になるために、在校生の部活やサークル活動、大学祭等へのイベントの資金支援を強化します。上記の「同窓生限定就活相談会」もこの支援に含まれます。昨今、就職活動の糸口として活性化している、就職インターンシップへの参加を促すために、定期的にアラムナイ勤める企業のインターンシップを特集したチラシを配布します。

### **5. 「親潮」の発行継続**

皆様の会費納入のきっかけになっているため、従来までの親潮の年 2 回発行と提供は継続します。希望者にはメーリングリストなどの送料のかからない方法で「親潮」の発行をお知らせし、経費削減を進めます。

※毎年約 100 万円が必要な名簿発行をやめると、104 万円の赤字をほぼ相殺できるようにみえますが、会費支払いを止める会員が増えて、納入率は低下してしまう可能性があります。この解決には、サービスに見合う会費への値下げを実行し、同窓会全体で会費収入が増える計画が必要と考えます。多くの会員の皆様の会費お支払い忘れの原因の一つとして、毎年毎年の支払いの手間がかかることが考えられます。余裕のある時にまとめ払いができればこの手間は減り、振込手数料も減り、割引があるのなら払いたいと思う方も一定数おられると思います。また、すでに多くの会員の皆様からこれまでに、定年退職時の定額一括払い制度を望むご意見がありました。

以上の提案につきまして、アンケートに回答していただき、皆様からのご意見を集約したいと考えています。